

平成23年度 事業計画について

平成23年3月1日
西日本電信電話株式会社

サービス計画・設備投資計画

■サービス計画（純増数）

項目	単位	① H22 業績予想 (H22. 11. 9公表)	② H22 見込		③ H23 計画	
				増減 ②-①		増減 ③-②
フレッツ光	万契約	85	85	0	85	0
固定電話	万加入	△170	△170	0	△165	+5
加入電話	万加入	△145	△148	△3	△144	+4
ISDN	万加入	△25	△22	+3	△21	+1

(注)ISDNについては、INSネット64とINSネット1500の合算値。(INSネット1500はINSネット64(10倍)換算している)

■設備投資計画

項目	単位	① H22 業績予想 (H22. 11. 9公表)	② H22 見込		③ H23 計画	
				増減 ②-①		増減 ③-②
設備投資額	億円	3,800	3,800	0	3,650	△150
(再)アクセス網光化投資	億円	約1,200	約1,300	+100	約1,300	0

収 支 計 画

(単位:億円)

項 目	① H22 業績予想 (H22.11.9公表)	② H22 見 込	増減 ②-①	③ H23 計 画	増減 ③-②
営業収益	17,530	17,560	+30	17,010	△550
IP系収入	5,810	5,820	+10	6,410	+590
既存サービス収入	10,100	10,120	+20	9,180	△940
(再)音声伝送収入	7,300	7,290	△10	6,520	△770
附帯事業収入	1,620	1,620	0	1,420	△200
営業費用	17,160	17,160	0	16,560	△600
人件費	1,100	1,100	0	1,060	△40
経費	11,210	11,210	0	10,720	△490
資本費用	4,170	4,170	0	4,100	△70
租税公課	680	680	0	680	0
営業利益	370	400	+30	450	+50
経常利益	490	520	+30	550	+30

(参考)

平成23年度の主な取組み

営業利益

(単位：億円)



光収支

(単位：億円)



増益基調の維持・光収支黒字化に向けて

- フレッツ光の普及拡大とARPUの向上
- 新たな収益源の確保に向けた成長戦略ビジネスの展開
- 更なるコストコントロールの推進
- コンプライアンスの徹底（公正競争の遵守）

本資料及び本説明会における説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされもしくは算定されています。

また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を用いてなされもしくは算定したものです。

将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料及び本説明会における説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。